

《特別支援学校坂戸ろう学園の活性化・特色化方針》

種別	聴覚障害	学部・学科	幼稚部・小学部 中学部・高等部	R5.5.1 児童・生徒数	(男) 44 (女) 42	計 86
アクセス	東武東上線 北坂戸駅から徒歩 15 分					
<b>&lt;教育課程等&gt;</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚部は、「健康」、「人間関係」、「環境」、「言葉」、「表現」における発達の側面と自立活動における障害に対応する側面を取り入れた教育課程を編成しています。</li> <li>・小学部～高等部は小学校、中学校、高等学校に準じた教科学習を行っています。</li> <li>・高等部では進路希望に応じて、普通科、産業工芸科の2つの学科を設置しています。</li> <li>・重複部は個々の障害の状況に応じ、教科及び領域別の学習の他に領域・教科を合わせた学習（日常生活の指導、生活単元学習、作業学習）を行っています。</li> </ul>						
<b>&lt;学校行事・部活動&gt;</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動会・体育祭（5月）やあゆみ祭（10月）は幼稚部から高等部まで一緒に取り組んでいます。</li> <li>・部活動は、中学部、高等部の生徒が対象で、陸上競技部、バレーボール部、野球部、卓球部、芸術部の5つの部活があります。運動部は、関東聾学校体育連盟の他に中体連、高体連、高野連の大会に参加しています。令和4年度の関東聾学校野球大会では三校連合（平塚ろう・立川ろう・坂戸ろう）チームを結成し、優勝しました。</li> <li>その他、全国高校生手話パフォーマンス甲子園（令和4年度は大宮ろう学園との合同チームを結成）でも全国優勝し、俳句関係の諸大会では、多くの生徒が入選を果たしています。</li> </ul>						
<b>&lt;家庭・地域との連携&gt;</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣の保育園や幼稚園、小学校、中学校、高等学校と交流会を実施しています。</li> <li>・学校公開を年2回（6月、10月）実施しています。</li> <li>・寄宿舎太鼓サークル「こぼと会」が、坂戸市や地域のイベントで太鼓演奏をしています。そのほか、埼玉 WABI SABI 大祭典など様々な場面で発表しています。</li> </ul>						
<b>&lt;進路&gt;</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年大学等に進学します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;進学先&gt; <ul style="list-style-type: none"> <li>・目白大学（社会情報学科）、筑波大学附属聴覚特別支援学校専攻科、県立特別支援学校大宮ろう学園高等部専攻科</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>・求人増加に伴い、就職も充実しています。 <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;就職先&gt; <ul style="list-style-type: none"> <li>すかいらーくレストラン（むさしの森珈琲）</li> </ul> </li> <li>&lt;就労移行・作業所等&gt; <ul style="list-style-type: none"> <li>ヤマト自立センタースワン工舎新座</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>						

（※児童生徒数：R5.5.1 現在、進路は R5.3 卒業生の実績）

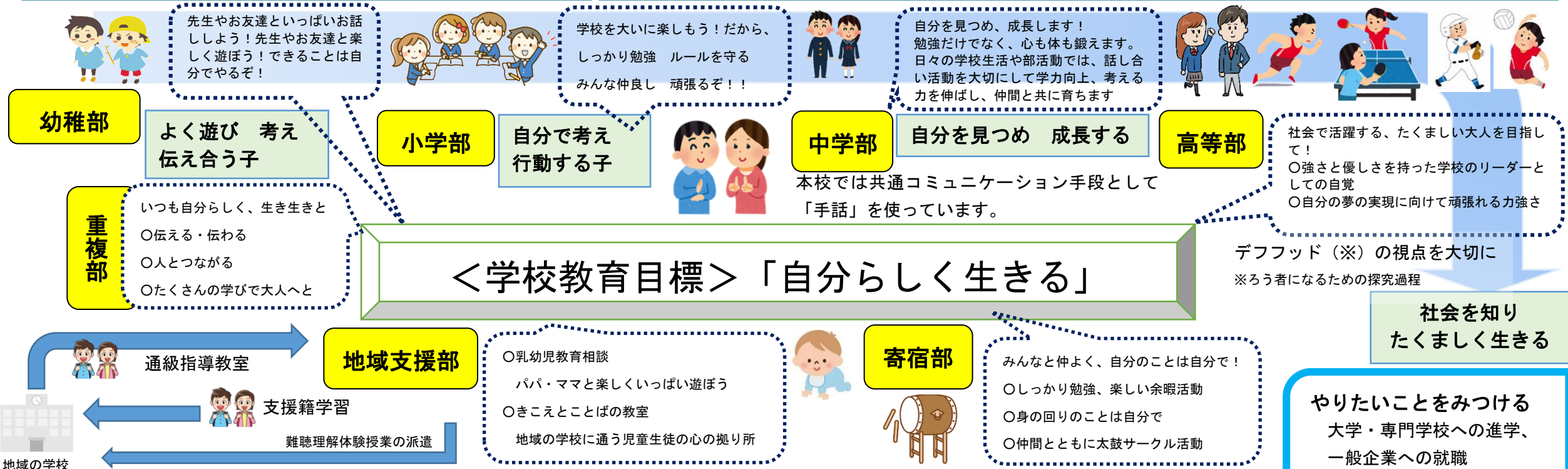
# 県立特別支援学校坂戸ろう学園 幼児児童生徒の成長物語

## 聴覚障害の特別支援学校

- 幼稚部から小学部・中学部・高等部まで86名の児童生徒が学んでいます。
- 乳幼児教育相談が設置されており、0歳児から教育相談を受け付けています。
- 県立学校唯一の難聴・言語通級指導教室を設置しており、地域の小中学校の児童生徒が通っています。巡回教育相談では高校生まで支援しています。

## 学校の様子

- 共通のコミュニケーション手段を『手話』とし、あらゆるコミュニケーション手段を活用し、学力の向上を図っています。
- 全校の幼児児童生徒が学部を超えてお互いに助け合う、アットホームな雰囲気が本校の魅力です。
- 個に応じた指導を大切にしています。学習内容は、聞こえない・聞こえにくいという特性を十分に踏まえ、幼稚園、小学校、中学校、高等学校に準じた教育をしています。複数の障害を併せ有する幼児児童生徒は、個々の障害の状況に応じて学習内容を工夫しています。
- 中学部、高等部は活発に部活動を行っています。聴覚障害に配慮のある企業への就職のほか大学等への進学希望も増え、そのために教育課程も工夫しています。



＜目指す学校像＞ 多様な社会の中でたくましく生きるための力を育む、地域から信頼される学校

## 坂戸ろう学園の1年の出来事

坂戸ろう学園

坂戸ろう学園

「WE リーグ試合会場での盛り上げ企画」で太鼓発表！（寄宿舎・こぼと太鼓サークル）



「第9回全国高校生手話パフォーマンス甲子園」坂戸ろう学園・大宮ろう学園との合同チーム  
初優勝！



筑波技術大学から外部講師（ろう者）を招いて、小中高でプログラミング教室。「アルゴリズム」について学びました。

